

患者さんおよび患者団体との関わり方についてのビジョン

背景

日本新薬の経営理念である「人々の健康と豊かな生活創りに貢献する」は、患者さん、そのご家族、そして介護者の方々へ、健康で幸せな生活を送るために役立つ革新的で有意義な治療オプションを提供するというミッションそのものです。そして、このミッションを果たすことが、患者さんおよび患者団体と製薬企業が価値を「共創」することに通じます。当社は、創薬・臨床開発の初期段階からライフサイクルマネジメントを通して、患者さん及び患者さんのご家族の声を取り入れるための取り組みの重要性を理解しています。

当社は、アンメットメディカルニーズに挑戦し、患者さん、そのご家族そして介護者の方々に貢献するために、以下のビジョンステートメントに従って行動します。

ビジョン

日本新薬グループは、患者さんおよび患者団体との積極的な協力関係を構築・維持することを通して、患者さんのニーズや期待に応えられるよう努力し、病気とともに暮らす人々の生活に明るい未来を「共創」します。

1. ペイシェント・セントリシティ (Patient Centricity) 活動：患者さんおよび患者団体の声に耳を傾けます。日本新薬では、ペイシェント・セントリシティの推進をマテリアリティ（重要課題）活動内容の1つとして挙げています。ペイシェント・セントリシティ活動では、患者さんを第一に考えるだけでなく、社員がいかに関与し、患者さんおよびその家族、介護者のために働くことができるかというマインドセットを常に持ち、行動に移します。
2. 患者・市民参画 (Patient and Public Involvement : PPI) 活動：PPI は、病気とともに暮らす人々や病気の影響を受けた人々の体験に基づく、創薬・臨床開発・ライフサイクルマネジメントへの期待・要望・助言などを医薬品事業に反映する「共創」の理念を意味しています。

日本新薬グループは PPI の重要性を理解し、患者さんおよび患者団体とともに、真に求められる医薬品を世に送り出すだけでなく、患者さんの健康と豊かな生活創りに貢献するため、患者参画の方法を整備し、これらを通して組織の使命を満たしていく努力をします。